



完成した「あのなひのな」を渋川小学校の子ども達に披露

リモートで交流 「あのなひのな」 折り紙教室

2月10日(水)、西大路小学校2年生を対象に「あのなひのな折り紙教室」が行われました。6年生の近江の茶づくりの学習が縁でつながりができた草津市市立渋川小学校の子ども達とリモートで交流を行い、日野菜のPRキャラクター「あのなひのな」の折り紙と一緒に作られました。

子ども達は、完成した可愛い「あのなひのな」に大喜び。完成した折り紙は、毎年交流を行っている「ゆめさとデイサービス」さんにプレゼントされるそうです。

子ども達もステージに上がり演奏



お囃子演奏を間近で体感 日野菜の祭囃子教室

2月10日(水)、日野小学校3年生を対象に日野菜祭曳山囃子方交流会の皆さんを講師として招き、「日野菜の祭囃子教室」が行われました。

教室では、祭囃子の「馬鹿囃子」や「大間」などの演奏披露や楽器紹介が行われました。また、演奏経験のある子ども達がステージに上がり、一緒に演奏する場面もありました。

子ども達からは「神輿と曳山の違いは？」「日野菜祭はいつからしている？」などたくさん質問ができました。

あつまれひのっこ スペシャル鬼ごっこ

2月21日(日)、大谷公園体育館で日野町子ども会連絡協議会が町内小学生を対象に「あつまれひのっこスペシャル鬼ごっこ」を実施され、26人が参加されました。

ボールを当てられた人が鬼になる「ボールおにごっこ」や線の上しか走れない「線の上おにごっこ」、3色のチームに分かれて取ったしっぽの数を競う「しっぽとりおにごっこ」などが行われました。

子ども達は、鬼同士で協力して捕まえたり、チームで協力して作戦を練ったりしながら楽しんでいました。

線の上をジャンプしながらうまく逃げていました



楽しい旬の話題をお知らせください

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当
(役場1階・町長懇談室 ☎0748-52-6550)までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!

平和・友好・健康を願う 青い目の人形贈呈・歓迎式

3月3日(水)、西大路小学校で青い目の人形贈呈・歓迎式が開かれました。「青い目の人形」は、戦前、日本とアメリカの友好の証として、アメリカの宣教師シドニー・ギューリックさんが全国の学校に贈っていたものです。1927年、全国で1万2千体以上、日野町には2体贈られました。西大路小学校は抽選で漏れてしまったそうです。

昨年、同校児童が平和や友情の大切さを学び、孫のギューリック三世に手紙を送られました。これがきっかけで、94年ぶりに、同校に青い目の人形「シーリック三世」が届けられました。ギューリック三世が3年前に日野小学校に人形を届けにきた際に対応にあたった日野町国際親善協会のモーア・オースティン副会長が代理となり、青い目の人形を児童に手渡されました。



青い目の人形
「シーラちゃん」

児童を代表し山田瑚さん(6年生)は「私達はシーラちゃんと一緒に平和と友情が未来に続くこと、コロナウイルスが早く収まることを願い、いつまでも地域の宝にしたい」と誓いの言葉を述べられました。

ALSOK 財団がNPO法人スプルーへ寄付

3月4日(木)、公益財団法人ALSOKありがとう運動財団がNPO法人スプルーへ活動助成金を寄付されました。

同財団は、「生かし生かされる」「ありがとこの心」を理念とし、賛同したALSOKグループの役員、社員等で構成されています。その会員からの寄付で、社会奉仕活動等の支援をされています。

NPO法人スプルーの坂原美津子代表は「助成金は、近江鉄道日野駅前今春開業予定の『生きづらさを抱える若者達が働く練習のできるパンカフェ』の店舗改修費用などに活用します。クラウドファンディングでは、予想をはるかに超える支援を頂戴し、改めてこの社会的課題への関心の高さと事業を成し遂げる責任を感じました。期待と信頼を裏切らないよう邁進していきたい」と話されました。

贈呈を受けた
坂原代表(中央)



しがぎん日野経友会さんから卒業生に花束

このたび、町内を拠点とする企業15社で構成されている「しがぎん日野経友会」さんから、町内小中学校の卒業生346名に対し、花束を寄贈いただきました。

コロナ禍で各種行事が縮小され、進路への不安や不自由な経験をした卒業生に、地域全体が祝福・応援していることを表し、卒業という旅立ちを希望を持って迎えてほしいとの願いから、ガーベラの花束を卒業生一人ひとりに寄贈いただいたものです。
ありがとうございました。

ガーベラの
花言葉は「希望」

